

2. 大学入学共通テストにおける「地理歴史」、「公民」及び「理科」の取扱い

大学入学共通テストの「地理歴史」、「公民」及び「理科」の科目は、次のように取り扱いますので、大学入学共通テストの上記教科の科目を複数受験する場合は、必ず志望する学部・学科が指定する科目を第1解答科目として受験してください。

- (1) 大学入学共通テストの「地理歴史」、「公民」及び「理科」の科目について、複数科目を受験した場合において、本学学部・学科が受験科目を1科目と指定している場合には、第1解答科目の得点を採用します。

また、本学学部・学科が指定している科目を第1解答科目で受験せずに、第2解答科目で受験した場合には、その得点は0点として取り扱います。

ただし、同一名称を含む選択できない科目を受験した場合、第2解答科目は0点として取り扱わず、出願無資格とします。

(例：本学学部・学科が指定している科目「世界史B」；第1解答科目で「世界史A」、第2解答科目で「世界史B」を受験した場合などは出願無資格とします。)

また、共創学部については、(2)のとおり取り扱います。

- (2) 共創学部の前期日程では、38ページ(注)5の4つの受験パターンのうち、いずれかの受験パターンを満たしていれば個別学力検査等を受験できます。

なお、「地理歴史」及び「公民」又は「理科②」において、複数科目受験した場合の取り扱いについて、「地理歴史」及び「公民」又は「理科②」の科目が1科目となる受験パターンでは、第1解答科目の得点を利用します。

その場合、共創学部が指定している科目を第1解答科目で受験せず、第2解答科目で受験した場合、その得点は0点として取り扱いますので、十分に注意してください。ただし、同一名称を含む選択できない科目を受験した場合、第2解答科目は0点として取り扱わず、出願無資格とします。

(例：共創学部が指定している科目「世界史B」；第1解答科目で「世界史A」、第2解答科目で「世界史B」を受験した場合などは出願無資格とします。)

また、複数の受験パターンを満たしている場合には、最も高得点となるパターンで選抜を行います。

- (3) 出願書類受理後に、出願無資格者であることが判明した場合は、個別学力検査等の受験はできません。この場合には、本人へ通知し、入学検定料の一部を返還します。(30ページ(5)①を参照)

※ 前期日程と後期日程では、同一学部・学科において、本学が指定している大学入学共通テストの教科・科目が異なる場合がありますので、希望する学部・学科が指定している受験教科・科目を必ず確認のうえ(38～39ページを参照)、受験してください。

3. 選抜等の方式

一般選抜は、分離・分割方式(前期日程及び後期日程)で実施します。(ただし、共創学部、教育学部、理学部数学科、医学部、歯学部、工学部V群及び芸術工学部については、後期日程を実施しません。)

なお、本学では同一学部、異なる学部を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。